

年 組 名前 :

問1

「環境危機時計」とは、何を表す時計ですか。

.....
.....

問2

今年は9時35分で、昨年より改善されました。

昨年は、何時何分でしたか。

..... 時 分

問3

改善は、されましたが、依然として厳しい状況は

続いています。最も深刻な問題を、2つ挙げて

ください。

.....
.....

問4

今回の調査で10分以上改善された地域と、

10分以上進んだ地域を答えてください。

改善された地域 :

進んだ地域 :

旭硝子財団は8日、地球環境の悪化に対する各国の専門家の危機感を時刻で表す「環境危機時計」が、今年は「極めて不安」を示す9時35分だったと発表した。昨年から7分戻り、2年連続で改善したが、依然として厳しい見方が続く。最も深刻な問題として「気候変動」や「生物多様性」を挙げ

環境時計 9時35分

改善でも危機続く

専門家ら気候変動反映

た人が多かった。地域別ではアジアやオセアニアで昨年より10分以上改善した。中国の若い世代が自国の環境対策を評価したことなどが影響したとみられる。一方、北米や東欧・旧ソ連などでは10分以上進んだ。日本は世界平均に近い9時33分で昨年より3分改善した。環境危機時計は毎年、同財団が環境問題に関わる専門家や政府、非政府組織（NGO）職員らにアンケートし発表。深刻さを0時1分からの12時間間で表現し、9時を過ぎると「極めて不安」な状態を示す。今年は127カ国の1800人余りの回答を分析した。

(2022年9月9日付 山梨日日新聞 25面)